

令和元年度 事業報告

I. 公益目的事業

海の恩恵をはじめとする海事思想の普及宣伝に努め海事知識の啓発を図ることを目的に、当協会の公益目的事業と（公財）日本海事広報協会及び（一財）日本モーターボート競走会からの受託事業を連携させ、海事知識の普及事業等の公益目的事業を実施しました。

1. 体験活動等（事業区分4）

(1) 青少年の海事意識啓発

小学生を対象にした海洋博物館等の海事施設見学や、船舶を利用した海洋・沿岸環境の乗船ウォッチング等の体験学習会を実施し、青少年の海事知識啓発に努めました。

船との出会い事業 （公財）日本海事広報協会からの受託事業

①校外学習

兵庫県下の小学校3・4年生を対象とした校外学習を実施しました。

体験学習会を通じて海への理解と関心を深めてもらうことを目的に、5月上旬から10月下旬にかけて、神戸海洋博物館の見学及び観光船での港内乗船ウォッチングを実施し青少年に対する海事意識の啓発を図りました。

参加校8校 児童623名 教師25名

②親子交流海洋教室

神戸海事地域人材確保連携協議会主催の元、県内の小学生を対象に親子で海への関心及び親しみをもってもらうことを目的に、午前は神戸海洋博物館を見学したあと、「ファンタジー号」に乗船し神戸港を見学しました。午後からはロープワーク教室、貝殻を利用したフォトフレーム作成教室等を行い、最後に全員でフラダンス教室を楽しみました。

実施日8月9日 参加者80名（子供46名、保護者34名）

③海事施設見学

神戸海事地域人材確保連携協議会主催の元、小学生高学年親子を対象に「みなとのちから」をテーマに港湾技能研修センター（神戸）の見学を実施しました。

子供達に船や港に少しでも興味をもってもらい理解を深めてもらうこと目的とし、「暮らしをささえる港湾」の講演とビデオ上映の後、施設内を見学しました。

参加者は普段見慣れない機器に興味を示し、子供達はガントリークレーンシミュレーターを行いました。

親子から多くの質問が飛び交い好評のうち終了しました。

実施日8月21日 参加者40名（子供20名、保護者20名）

④こども交流海洋教室

神戸海事広報協会、伊丹市ボートレース事務局、洲本場外発売場運営協議会共催のもと海洋国日本の次世代を担う青少年が、交流海洋教室を通じて一層海に親しみ、子供達が交流することにより海への理解と親睦を深める事を目的に実施しました。

洲本地区の小学生4年生から6年生が参加し、午前には練習帆船「日本丸」を見学した後、船長から帆船に関わる講話がありました。

午後からは、神戸海洋博物館を見学した後、貝殻を利用したフォトフレーム教室等を行いました。

実施日 8月22日 参加者 41名

⑤海の仕事へのパスポート（自立支援施設の中学生体験学習）

人手不足が続く若年船員の人材確保及び児童の実社会への自立サポートを目的に、（公財）日本海事広報協会並びに神戸運輸監理部共催のもと出前授業を実施しました。

練習船「銀河丸」の船内見学後、実際に操船シミュレーターを使っの模擬操船等を体験しました。乗組員との質疑応答・意見交換によって今まで知る機会なかった「船員」と言う職業に向かう「道しるべ」は、中学生だけでなく先生達にとっても大いに参考になったことと思います。

「体験講話」では、神戸港遊覧船の元女性機関長がどうして船員の道を選んだのか、また寮生活をしながら学んだ体験談を披露し奨学金制度も紹介しました。

実施日 12月16日 参加者 中学生18名 教員8名

⑥神戸・みなと体験

神戸海事地域人材確保連携協議会主催の元、普段、港には馴染みの少ない小中学生に「みなと」を知ってもらい、親子で親しんでもらうことを目的に実施しました。神戸港～大阪港において、「ばしふいっく びいなす」の船内見学をし、ロープワーク教室では浮き輪のストラップ作りを親子で楽しみました。

実施日 12月21日 参加者 41名（子供22名、保護者19名）

* 神戸海事地域人材確保連携協議会

神戸の海事・教育関係者が協力し、青少年が海や船・港に親しむ機会の提供や学校教育と連携した海事教育の推進等に取り組み、海事産業の重要性や理解と将来の海事産業への進路の選択肢を広げてもらうことを目的に産官学が一体となり、平成20年6月に設立された。

（神戸運輸監理部、近畿地方整備局、神戸市港湾局、神戸市総合教育センター、神戸大学、海技大学、神戸観光局、神戸海事広報協会、内外航船社等で構成）

⑦市民クルーズ&海洋教室

海の重要性について理解を深めてもらうため、(一財)神戸観光局共催のもと、一般市民を対象に「ルミナス神戸2」にて神戸港内クルーズを実施し、船内では海洋教室(講師による海事関係の講話)を実施しました。

実施日 2月21日 参加者 一般市民350名

(2) 「ひめじマリンフェスティバル2019」

①7月28日、(一財)姫路市まちづくり振興機構と共催のもと中学生を対象にユース・セイルトレーニング(帆走訓練)を実施しました。

参加者 70名

7月21日に予定していましたミニクルージングは悪天候のため中止となりました。

2. キャンペーン、海の月間(事業区分8)

(1) 「海の日」・「海の月間」関連行事広報

(公財)日本海事広報協会からの受託事業として、「海の日」・「海の月間」関連行事広報を推進し、海事関係機関等と協力し事業の効率的な推進を図り、広く一般市民に国民の祝日「海の日」の意義を理解してもらうため、広報活動を実施しました。

6月~7月	「海の月間」(姫路マリンフェスティバル2019)ポスターの作成及び配付
7月1日~	各種イベント行事等において関係団体、一般市民、参加者に各資料を配付し「海の日」・「海の月間」の趣旨、意義について広報
7月1日~31日	「海の月間」横断幕を神戸ポートタワー西側連絡橋に掲出
7月1日	日本海運集会所「KAIUN(海運)」7月号に広告掲載
7月13日	神戸新聞社に広告掲載
7月14日	メリケンパークステージにおいて海の絵画コンクール表彰式を実施
7月15日	「神戸港ポート天国」において広報資料等を配布
〃	会報誌「海の日特集号」を発刊
7月16日	「海の日記念式典」において、出席者に会報誌及び広報資料等を配布
7月20日	日本海事新聞社「海の日記念特集号」に広告掲載
7月28日	姫路マリンフェスティバル2019を実施

(2) 国土交通省海事功労者等表彰式典

「海の日」を迎えるにあたり、7月16日神戸運輸監理部及び近畿地方整備局並びに第五管区海上保安本部主催による「海の日」記念式典が行われ、海事功労者等の表彰式が行われました。

会 場 ホテルオークラ神戸「平安の間」

出席者数 388名

また、姫路地区では7月15日に当協会が参画している姫路海の日協議会等の主催で「海の日」記念式典が開催されました。

(3) 海浜・港湾の清掃

海事関係の各種団体と連携し、須磨海岸の清掃を行いました。

また、(公財)日本海事広報協会の行う「全国ビーチウオーク&クリーアップ大作戦」を実施し、海洋環境保護の啓発に努めました。

・須磨海岸クリーアップ大作戦

6月30日 神戸運輸監理部、全日本海員組合関西地方支部、神戸海洋少年団、神戸海事広報協会

参加者45名(全体約6,000名) ゴミ収集量 約1t

・全国ビーチウオーク&クリーアップ大作戦

6月30日 「念法寺」 洲本大浜海岸、炬口海岸

参加者約100名 ゴミ収集量 約1.5t

7月7日 「念法寺」 洲本大浜海岸、炬口海岸

参加者約100名 ゴミ収集量 約1t

7月6日 「香美町香住観光協会」 香住海岸一帯

参加者約200名 ゴミ収集量 約1t

7月15日 「竹野浜海岸を美しくする会」 竹野浜海岸、切浜海岸等

参加者約400名 ゴミ収集量 約2t

3. 展示会、〇〇ショー(事業区分9)

海の絵画コンクールの入賞者40名について7月5日～9月1日間、神戸海洋博物館にて展示会を開催しました。(来場者数 約4万名)

4. 表彰、コンクール(事業区分14)

(1) 海の絵画コンクール

幼稚園、小学生、中学生を対象にした「海の絵画コンクール」を、神戸運輸監理部・兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会の後援を得て実施し、青少年の海に対する関心を高めました。

神戸市小学校教育研究会図工部長による審査の結果、4部門(幼稚園、小学校低学年、高学年、中学校)にそれぞれ金賞1、銀賞3、銅賞6及び佳作65点が選ばれました。その他、5月3日～4日に開催された「神戸メリケンパーク五月祭2019」会場で特別写生会を開催し、62名(内コンクールに応募39点)の参加がありました。

(中学の部)

応募校 19校 応募作品 183点

(小学校の部)				
応募校	53校	応募作品	206点	
(幼稚園の部)				
応募校	30園	応募作品	545点	
	計	<u>102校(園)</u>	<u>934点</u>	

入賞者表彰式 7月14日(日) メリケンパーク野外ステージ
 (「第19回 Kobe Love Port みなとまつり」に併せて開催)
 表彰式参加者 139名(保護者含む)

(2) 小学生海の作文コンクール

小学生を対象にした「海の作文コンクール」((一財)日本モーターボート競走会からの受託事業)を神戸運輸監理部・兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会の後援を得て実施し、9校から392点の応募がありました。

応募作品は、神戸市教育委員会指導主事の審査により入賞作品10点と佳作20点選ばれました。

入賞作品の表彰式は、令和2年2月15日(土)に神戸港観光船「ファンタジー号」の船内にて行われ、受賞者及びその家族25名が参加し表彰状の授与及び副賞の贈呈が行われました。

5. 上記の事業区分に該当しない事業(事業区分18)

(1) 海事知識の普及事業

各種イベント会場等を利用して、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズ等の配付を行いました。

(2) 資料の整備作成及び配付

(公財)日本海事広報協会作成の広報資料の配付を行うとともに協会会報誌の発行を行い、海事思想の普及を図りました。

II. その他事業(相互扶助等の事業)

1. 神戸まつり

5月19日(日)に開催された第49回神戸まつりのパレードに、「うみ・みなとの仲間たち」として、15団体・248名が参加し、一般市民に海事に関する関心の高揚を図りました。

2. 「海の日」を祝う会

7月16日午前に行われた海事功労者等表彰式典終了後、「海の日を祝う会」実行委員会の主催により祝賀会を開催し、受賞者及びその家族並びに海事関係者とともに海事産業の重要性を再認識し、海に対する意識の高揚を図りました。

参加人数 324名

3. 他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配付

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催等を行いました。

- ・第41回神戸港カッターレース（5/12）
- ・第18回Kobe Love Portみなとまつり2019（7/14～15）
- ・第35回神戸港ボート天国（7/15）
- ・第49回みなとこうべ海上花火大会（8/3）
- ・その他海事広報活動

III. 庶務事項

◎第1回理事会（決算書面理事会）

令和元年4月22日（理事会の決議があったとみなされた日）

◎第56回定時総会

令和元年5月20日 10:30 神戸海洋博物館大ホール

◎第2回理事会

令和元年5月20日 11:10 同上

◎第1回企画委員会

令和元年12月9日 16:30 神戸運輸監理部会議室

◎第2回企画委員会（書面企画委員会）

令和2年3月16日（企画委員会の同意があったとみなされた日）

◎第3回理事会（予算書面理事会）

令和2年3月19日（理事会の決議があったとみなされた日）

◎その他

- 4月10日 監事による内部監査
- 4月13日 第49回神戸まつりパレード説明会
- 4月25日 第48回みなとこうべ海上花火大会監査
- 5月13日 第49回神戸まつりパレード全体会議
- 5月20日 第49回みなとこうべ海上花火大会第1回実行委員会
- 5月30日 第17回神戸海事地域人材確保連携協議会
- 6月5～6日 全国海事広報協会事務局長会議
- 6月10日 「第49回みなとこうべ海上花火大会」第1回安全対策委員会
- 6月13日 神戸市客船誘致協議会総会
- 6月13日 メリケンパーク協議会 決算等監査
- 6月14日 第18回Kobe Love Port みなとまつり第1回実行委員会
- 6月18日 第18回メリケンパーク協議会幹事会・総会
- 7月 2日 中学校校長会
- 7月 7日 GII尼崎MB大賞（尼崎ボートレース場）
- 7月 8日 「第49回みなとこうべ海上花火大会」第2回安全対策委員会
- 9月 8日 大庄まつり（尼崎ボートレース場）
- 11月22日 「第49回みなとこうべ海上花火大会」第2回実行委員会（書面協議）